

弱者と分け合う幸福

賀川豊彦 1888（明治21）年7月10日、神戸市兵庫区生まれ。幼少期に両親を亡くし、徳島県鳴門市の自家に引き取られ、旧制中学時代、キリスト教宣教師の影響を受け、洗礼を受けた。神戸神学校などで学び、1909（明治42）年から神戸のスラムで救貧活動に携わり、米国へ留学後、労働運動や協同組合運動、農民運動、平和運動の先頭に立った。自伝的小説「死線を越えて」は大正期最大のベストセラーになった。60（昭和35）年死去、享年71。



愛と協同

「クリスマスは最も弱い立場の人々と分かち合うべきだ。」
1909（明治42）年12月24日、神戸神学校に通う12歳の青年が、神戸市資合区（現・神戸市中央区）

スラムに住み環境改善



住み込んだ長屋近くで子どもたちと一緒に写る賀川（左から2人目）＝1910年ごろ

貧困問題や労働問題に立ち向かい、「友愛」「共存同栄」を説いた賀川豊彦が、神戸で救貧活動を始めて100年になる。その志を継ぐ人たちのインタビューを通じて、「日本のガンジー」とも呼ばれた賀川の生きざまに触れ、足跡をたどる。
（河尻 悟）

貧困問題や労働問題に立ち向かい、「友愛」「共存同栄」を説いた賀川豊彦が、神戸で救貧活動を始めて100年になる。その志を継ぐ人たちのインタビューを通じて、「日本のガンジー」とも呼ばれた賀川の生きざまに触れ、足跡をたどる。
（河尻 悟）

賀川は翌23年に発生した関東大震災の救援活動で東京に拠点を移すが、イエス団はその後も、最大の協力者武内勝を中心に神戸で活動を続けた。54（昭和29）年に社

21（大正10）年には、賀川の助言や支援を受け、神戸で二つの協同組合が誕生した。

会福祉法人、79（昭和54）年に学校法人として認可。今井鎮雄（元理事長、現神戸YMCA顧問）や村山盛嗣（現常任理事）らが賀川の精神を受け継ぎ、今、神戸や西宮などで40の保育園や高齢者施設を運営している。

ともに生きて

賀川豊彦活動開始100年

の新生田川にあるスラムで、5畳一間の長屋に住み込んだ。以前から考えていた計画だった。青年の名は賀川豊彦。この地で始めた救貧活動とキリスト教伝道は約14年におよび、日本を代表する社会運動家・賀川の原点となった。

◇

年が明け、自宅兼伝道所を「救霊団」と名づけ、ボランティア組

日本の社会運動家の草分け・賀川豊彦の理念を継承し、多様な事業を展開する「賀川記念館」が1日、神戸市中央区吾妻通5に完成した。

旧記念館が築後45年を経て老朽化したこともあり、賀川が神戸で救貧活動を始め、100年になるのを機に建て替えた。鉄筋5階建てで、1階は貸室、2、3階は賀川の志を継ぐ社会福祉法人・学校法人「イエス団」の本部や保育施設「友愛幼児園」が入り、テラスに農園なども整備する。4階は、教会や賀川の業績を紹介する「賀川ミュージアム」（来年4月オープン予定）、賀川に関する文庫資料などを保管する。5階

救済事業の拠点目指す



完成した賀川記念館＝神戸市中央区吾妻通5（撮影・西田育郎）

は牧師の住居となる。川の精神を次代に伝える救済事業費は8億3500万円。ミュージアムのえればありがたい」とし運営資金を募り、これまでに3750万円集まった。高田裕之館長は「賀5」（河尻 悟）

ミュージアム 来年4月に開館

新「賀川記念館」が完成



■本社社会部
〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL:078-362-7040
FAX:078-360-5501
e-mail:kobe-ban@kobe-np.co.jp

■姫路支社
〒670-0964 姫路市豊沢町78
TEL:079-281-1125 FAX:079-281-9277
e-mail:himeji@kobe-np.co.jp

■東播支社
〒675-0031
加古川市加古川町北在家2311
TEL:079-422-2073 FAX:079-421-1023
e-mail:toban@kobe-np.co.jp

火事や事故の速報、写真・映像提供、身近な話題、生活情報を下記へご連絡ください。

（月～土 10:00～17:30）
【読者センター】 TEL:078-362-7056